

令和7年度 英語教育推進事業(岐阜地区) 本巣市立根尾学園

ココが根尾学園の英語のウリ！

ICTを活用して多様な他者との本物のコミュニケーションを行っています！

研究主題

たくましく生き抜く児童生徒の育成～自立・共生・創造の具現化を通して～

主張点①

付けたい力や手立て、教師の出場を明確にした単元設定

本校9年間・6年間で育成したい資質・能力(目指す姿)

	自立	共生	創造
9年生	強み、よさを自覚し、粘り強く取り組む姿	(人と違う意見、反対の意見を伝え)互いに認め合える姿	自分を認め堂々と語る姿
6年生	目標をもち、諦めず取り組み続ける姿	意見を聞き受け入れる姿	自分を理解し、実践しようとする姿

◆目指す姿を達成するための手立て

- ・本校6年間で育成したい(目指す姿)の育成のために、年間を通して児童が「伝えたい!」と思う目的・場面・状況を設定し、意味ある「やり取り」を通して自分の考えや気持ちを、伝え合う喜びを実感することができるようにする。
- ・また、本時は「他校との交流」を通して、「伝えることができた」「聞き取ることができた」といった学びの実感を得ることができるようになる。

2 Aimの提示

根尾と田河でふるさとじまんをしよう!

6、9年生で何ができるようになっていけばよいかを描き単元へ

長崎県の同年代の子とオンラインで英語交流

主張点②

自己理解や納得感、学びの自覚化を生む終末の工夫



「実際のやり取りを通して」

- ・「うまく話せなかった。どうすれば伝わるのだろう。」と表現方法について考え、教師やALTに尋ねるなど自己調整する姿が見られた。
- ・相手を引き込む質問やリアクションなど、相手に伝えるためのよりよいコミュニケーションの方法を全体で共有した。

「振り返りの場面では」

- ・「根尾の山や川の自然についてよく分かった。実際に行ってみたいな。」という振り返りをもらい、伝わった達成感を味わうことができた。
- ・「田河のきれいな海に入りたいと思った。岐阜には海がないからうらやましい。」と意見を聞き受け入れる姿が見られた。



成果と課題

- ICTを活用し、県内外の複数の学校と継続的に交流することで、多様な他者と伝え合う場を保障することができた。
- 自分たちとは異なる環境にいる子どもたちと英語で交流することを通して、互いのよさを分かり合ったり、違いを認め合ったりする気持ちを育むことができた。
- 「事前にある程度準備していること以外のこと」を伝え合うことに難しさを感じる子どもの姿が見られた。今後は、子どもが「間違えずに英語を使うこと」よりも「『このことを何とか伝えたい』と願う『伝えたい内容』」に、さらに意識を向け、「伝え合う喜び」を実感できるよう、言語活動や支援の在り方を改善する。

掲載資料

① 研究構想図 ② 5年生Lesson7 学習指導案



【学校教育目標】

ふるさとを愛し、仲間と共に未来を切り拓き
たくましく生き抜く児童生徒
～自立・共生・創造～

◆児童生徒の実態

1 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査結果から【根尾小、根尾中も含めて4年間(2021年～2024年)を集計】

※「自立」「共生」「創造」に関する質問の回答状況のうち着目したのは2点である。

- ・「将来の夢や目標を持っている」と自信をもって回答している前期課程児童、後期課程生徒の割合は、県や全国の平均と比べて大きい。
- ・「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と自信を持って回答している後期課程生徒の割合は前期課程児童と比較して小さい。

2 日常生活や学習活動等への取組の様子から(1を踏まえて)

- ・年齢の違いを越えて、温かくかかわり合う姿が多く見られ、仲間とともによりよい生活を創っていかうとする風土が醸成されつつある。
- ・夢や目標をもつ児童生徒は増えつつある一方で、自らの学びを自覚したり調整したりしながら粘り強く取り組むことには弱さが見られる。

3 考えられる要因とそれらを踏まえた本校児童生徒への願い

- ・【要因】異年齢集団、諸外部講師、地域の方等の多様なかかわりや、子どもの権利条例を軸にした様々な取組・経験を通じて、社会に目を向け、互いを認め合いながら、自分たちの力で物事を成し遂げていかうとする思いが高まっていると考えられる。一方で、より多くの仲間との対話から、自らの学びを見つめる機会が少ないこと、児童生徒の学びの自覚・実感につながる学習活動の充実が十分でないことが考えられる。
- ・【願い】多様な人々とのかかわり合いの中で、どのような場面・状況においても、目標に向かって、試行錯誤しながら、たくましく生き抜く力を高めたい。そして、自他のよさを認め合いながら、自らの生き方にさらに自信をもち、未来を切り拓いていける一人一人になって欲しい。

【研究主題】

たくましく生き抜く児童生徒の育成
～自立・共生・創造の具現化を通して～

◆本校9年間、6年間で育成したい資質・能力【目指す姿】

学年	自立	共生	創造
9年生	強み、よさを自覚し、 粘り強く取り組む姿	(人と違う意見、反対の意見を伝え) 互いに認め合える姿	自分を認め 堂々と語る姿
6年生	目標をもち、諦めず 取り組み続ける姿	意見を聞き 受け入れる姿	自分を理解し、 実践しようとする姿

◆研究方法(内容)

児童生徒が学ぶ目的を理解し、学ぶ意欲をもつ 導入の工夫	自己理解や納得感、学びの自覚化を生む 終末の工夫
付けたい力や手立て、教師の出場を明確にした単元設定	

◆研究仮説

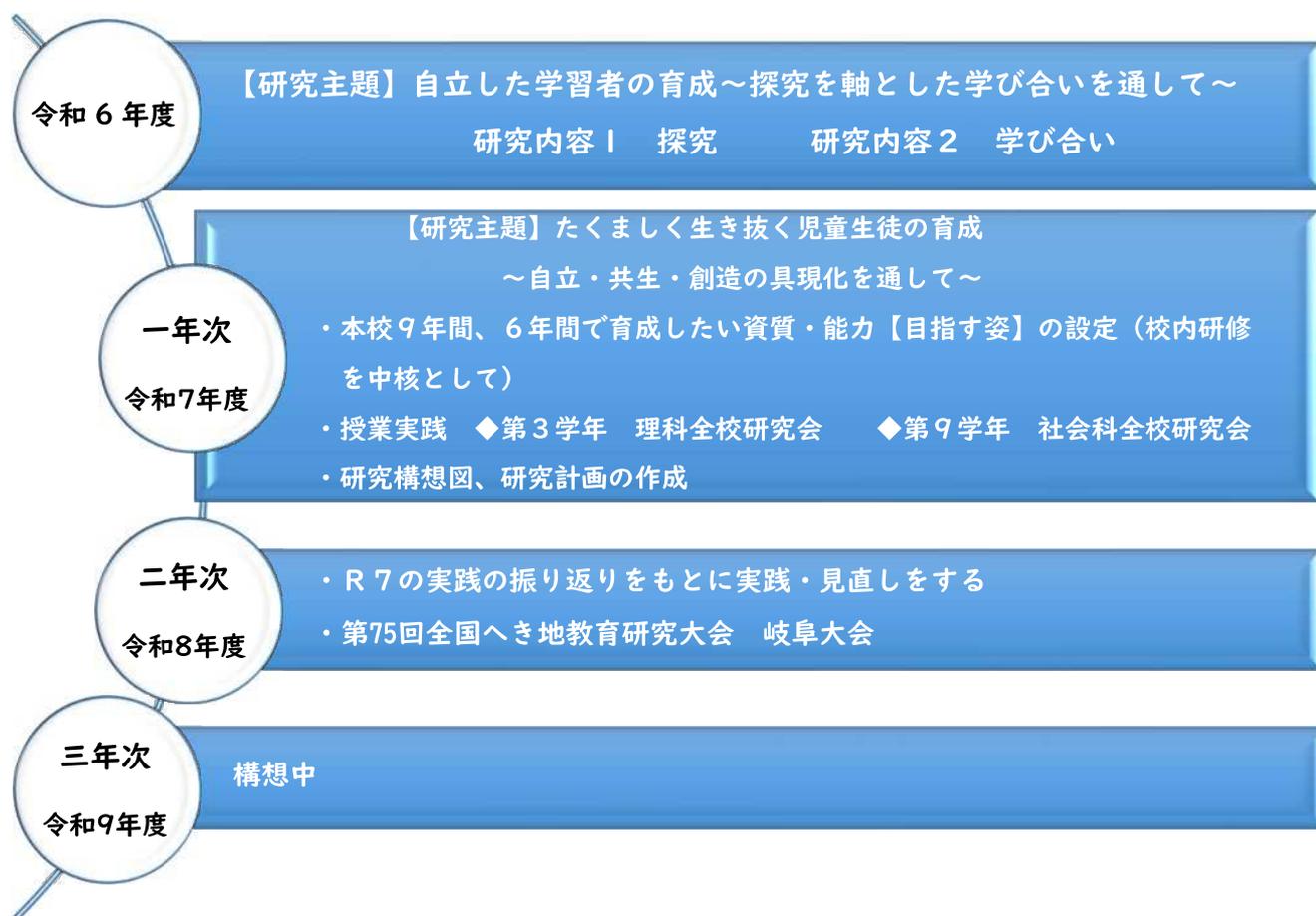
本校9年間、6年間で育成したい資質・能力【目指す姿】を達成するために①付けたい力や手立て、教師の出場を明確にした単元を設計し、②児童生徒が学ぶ目的を理解し、学ぶ意欲をもつ導入の工夫や、③自己理解や納得感、学びの自覚化を生む終末の工夫を学習活動で行えば、学校教育目標を具現化した児童生徒の姿に近付くことができる。

◆研究評価

- ・本校の全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査結果のうち、「自立」「共生」「創造」に関する質問の回答状況について、根尾小、根尾中も含めて継続的に集計し、平均を算出することで、児童生徒の実態を分析する。
- ・学校評価アンケートなどを含む各種調査の関係項目について、児童生徒や保護者、教職員の回答状況を分析する。
- ・校内研修における職員の意識変容を分析する。

◆研究計画

R7 は実践と振り返りを繰り返し、研究構想図を作成・確定する。校内研修（研究）を通して、ボトムアップ式に研究構想を作成する。



本校はチーム担任制・全学年教科担任制のもと、異年齢集団の活動である「うすずみ班活動」、総合的な学習の時間における7～9年生の個人探究「かがやき科」、外国語科・外国語活動等における「遠隔教育」などでも、様々な特色ある教育課程を展開し、学校教育目標を具現した児童生徒の育成を目指している。

今年度は研究の一年次として、昨年度までの研究の視点である「探究」「学び合い」を土台に新たな研究課題で研究を進めている。教科、領域に捉われることなく、学校教育目標を具現した児童生徒の姿を、自立・共生・創造の視点で明らかにし、「目指す姿」として設定することで、最上位目標を教職員で共有しながら研究に取り組んでいる。様々な手立てを構想し、実践を積み重ねていくことで、次年度への研究へとつなげたい。

第5学年1組 外国語科学習指導案

1 単元名・題材名 Lesson 7 I love my town.

2 本単元について

本単元は、「学習指導要領(小学校外国語編)」における次のことを大きなねらいとしている。

第5学年の内容(4)話すこと【発表】ウ

身近で簡単な事柄について伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

本単元「I love my town.」は、児童が暮らす町の魅力を他者に発信することを通して、伝えたい内容について自分の考えや気持ちを整理して話す力を高めることを目的としている。そこで、本校の5年生児童が、自分たちの地域、根尾の魅力を他地域に暮らす人に発信する場として、単元の終末に長崎県壱岐市の田河小学校の5年生とオンラインで交流し、互いの地域の魅力を伝え合う活動を設定した。児童が「伝えたい!」と感じる活動を仕組むとともに、単元を通して同様の言語活動に繰り返し取り組むことで、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

3 本単元のねらい

☆根尾学園 5年生の学習到達目標

○話すこと【発表】

自分や地域に関することなどについて、自分の思いや考えがより相手に伝わるように、伝える順番を決めたり内容を選んだりした上で、話すことができる。

相手に、「もっと知りたい」「行ってみたい」と思ってもらえるように根尾地域のことについて、おすすめの場所や物の魅力などを伝える順番を決めたり内容を選んだりしながら、自分の考えや気持ちなどと併せて話すことができる。また、話したことについて例文を参考に書くことができる。(※中心となる領域:話すこと【発表】)

4 単元指導計画

時	ねらい
1	単元終末の活動について見通しをもつとともに、町にある施設や場所、名産などの言い方を知ることができる。
2	町にある施設や場所、名産について、様子などの伝え方を知るとともに、前単元で作成したオリジナルマップを用いて、理想の町について話すことができる。
3	自分の住む根尾地域について、すてきな施設や場所とその様子などを伝え合うことができる。
4	自分の住む根尾地域以外の場所でできることを聞きとることができる。
5	今年度、根尾学園に来た先生に対して、自分が考える「根尾地域(本巢市)のすてきなところ」について、順番に気を付けて伝えることができる。
6	町の見どころについての音声を聞いて内容を理解したり、自分の住む地域について発表する内容を整理したりすることができる。

7	自分たちの住んでいる根尾地域(本巣市)のすてきなところを ALT に知ってもらうために、地域の施設やそこでできることなどについて、伝える順番を決めたり内容を選んだりしながら、伝えることができる。
8 (本時)	音声で十分に慣れ親しんだ表現を基に、「行ってみたい」と思ってもらえるように、自分たちの住んでいる根尾地域のすてきなところを、根尾地域について知らない人に、伝える順番を決めたり内容を選んだりしながら、自分の考えや気持ちと併せて話し、魅力を伝えることができる。

5 単元の評価規準

領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<知識> My favorite place is ~ . I(We) have ~ . I(We) can enjoy (see など) ~ . It's ~ . 及びその関連語句について理解している。 <技能> 場所やその場所の魅力について具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。		
話すこと (発表)	<知識> 主な言語材料について理解している。 <技能> 自分たちが住む地域について、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。	自分たちが住む地域をよく知ってもらうために、おすすめの場所などについて伝える順番を決めたり内容を選んだりしながら、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	自分たちが住む地域をよく知ってもらうために、おすすめの場所などについて伝える順番を決めたり内容を選んだりしながら、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
書くこと	<知識> 主な言語材料について理解している。 <技能> 自分たちが住む地域について、主な言語材料を用いて、例文を参考に、語順を意識して書き写すことができる。	自分たちが住む地域をよく知ってもらうために、おすすめの場所などについて、伝える順番を決めたり内容を選んだりしながら例文を参考に自分の考えや気持ちなどを含めて書き写している。	
表現	I love my town. (This is my town.) We have 【don't have】(a park). We can (see big cherry blossoms). It's (beautiful).		
語句	すること/したこと (see, enjoy, eat...) 建物など (usuzumi park, nougouhakusann, cafe...) 状態など (big, small, high, low, new, old, tall) 様子など (amazing, beautiful, exciting, famous, wonderful...)		

※「読むこと」と「話すこと(やり取り)」については、本単元では評価しない。

6 これまでの田河小学校との交流実践と今後の予定

日時	単元	ねらい
5/14	Lesson1	互いのことをよく知るために、名前や好きなものなどを伝え合うことができる。また相手の自己紹介を聞いて、内容について尋ねたり、それに対して答えたりすることができる。
7/16	Lesson3	互いのことをよく知るために、自分の夢を叶えるための時間割について、具体的な情報、考えや気持ちなどを聞き取ったり、理由を加えて話したりすることができる。相手の発表を聞いて、内容について尋ねたり、反応したりすることができる。
9/16	Lesson4	互いの学校の魅力を伝えるために、学校の先生の特技やできることについて、相手に分かりやすく(相手の理解を確かめたり、順番に気を付けたりして)伝えることができる。
11/26	Lesson7 (本時)	音声で十分に慣れ親しんだ表現を基に、「行ってみたい」と思ってもらえるように、自分たちの住んでいる根尾地域のすてきなところを、根尾地域について知らない人に、伝える順番を決めたり内容を選んだりしながら、自分の考えや気持ちと併せて話し、魅力を伝えることができる。
2月頃	Lesson6 (予定)	互いの地域にある郷土料理や給食などを販売する店員になりきって、商品の魅力や価格を伝えることができる。また、商品を紹介したり、注文したりする際に、その場に合った丁寧な言い方をすることができる。(予定)

7 本校の研究主題にかかわって

本校9年間・6年間で育成したい資質・能力(目指す姿)

	自立	共生	創造
9年生	強み、よさを自覚し、粘り強く取り組む姿	(人と違う意見、反対の意見を伝え)互いに認め合える姿	自分を認め堂々と語る姿
6年生	目標をもち、諦めず取り組み続ける姿	意見を聞き受け入れる姿	自分を理解し、実践しようとする姿

◆「本校9年間・6年間で育成したい資質・能力」についての、英語科の捉え(話すこと【発表】)

9年生	社会で起きていることなどについて、自分が知っている語彙を手掛かりに、粘り強く聞いたり読んだりして把握した事実をもとに、自分の考えをもつことができる(自立)。また、仲間の意見を認めながら(共生)伝えたい内容を整理して、事実や自分の考えなど、まとまりのある内容を話すことができる(創造)。
6年生	自分のことや、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えるために(自立)、仲間と繰り返し対話を重ねる中で、伝えたい内容や用いる表現を広げるとともに(共生)、伝えたい内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる(創造)。

◆目指す姿を達成するための手立て

- ・本校6年間で育成したい(目指す姿)の育成のために、年間を通して児童が「伝えたい!」と思う目的・場面・状況を設定し、意味ある「やり取り」を通して自分の考えや気持ちを、伝え合う喜びを実感することができるようにする。
- ・また、本時は「他校との交流」を通して、「伝えることができた」「聞き取ることができた」といった学びの実感を得ることができるようにする。

8 本時のねらい

音声で十分に慣れ親しんだ表現を基に、「行ってみたい」と思ってもらえるように、自分たちの住んでいる根尾地域のすてきなところを、根尾地域について知らない人に、伝える順番を決めたり内容を選んだりしながら、自分の考えや気持ちと併せて話し、魅力を伝えることができる。

☆根尾学園 5年生の実態と本時の目指す姿

9 本時の展開 (8/8)

過程	過程のねらい	学習活動	教師の支援				
<p>導入</p>	<p>・交流前に既習表現を用いた簡単なやり取りを行うことで、安心した雰囲気での学習に繋げることができる。</p>	<p>1 Activity(1) Greeting・Small talk (1) Greeting ・簡単な挨拶を行う。 (2) Small talk【What ○○ do you like?】 ・2分間のグループごとの交流を2回行う。 既習表現を活用し、定着を目指す。</p> <p>2 Aim の提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 根尾と田河でふるさとじまんをしよう! </div> <p>3 Activity(2) 【ふるさとじまん】 ・相手グループをかえて3回ふるさと自慢を行う。交流した後に振り返りを行う。 ・手元に資料(ロイロノートで作成したものなど)を持ちながら、ふるさと自慢を発表する。 ・聞き手は、相手の発表に反応したり、質問したりしながら発表を聞く。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">根尾</th> <th style="width: 50%;">田河</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 根I This is my town. We have usuzumizakura. This is a famous cherry blossom in Gifu. I like usuzumizakura. It's beautiful. </td> <td> 田I This is my town. We have Ikigyu. Ikigyu is very delicious. 田2 We can eat Yakiniku and Hamburger. I like Yakiniku very much. Please eat it! </td> </tr> </tbody> </table> <p>反応や質問(例) ・Wow, it's beautiful. ・I want to see it. ・In neo, we can eat deer meat(鹿肉). ・In tagawa, we can see the sea.</p>	根尾	田河	根I This is my town. We have usuzumizakura. This is a famous cherry blossom in Gifu. I like usuzumizakura. It's beautiful.	田I This is my town. We have Ikigyu. Ikigyu is very delicious. 田2 We can eat Yakiniku and Hamburger. I like Yakiniku very much. Please eat it!	<p>・Small talk では、C、D 児に加わる。 ①相手校児童の問いかけに答えることで、手本を示す。 ②内容を聞き、相手に質問をしたり、反応したりして、子ども同士のやり取りを広げられるようにする。 ・交流中に、言い方に困っている児童に声をかけ、「どうやったら言えるだろう。」とグループ内で考えられるようにする。</p> <p>【振り返りの視点】 ○内容面：話し手として、話す内容や話し方を工夫することができているか。相手に根尾の魅力を伝えることができたか。(根尾にあるものに対する自分の思いを伝える。新しい表現があればその場で共有する。)伝えられた場面やその要因を振り返り、次の活動に活かすようにする。 ○言語面：主語、動詞の順番で正しく、話すことができていないか。 (反応や質問については、年間を通して指導を行っている。本時は伝えることが目的だが、発表を聞いた後に反応や質問などをしてやり取りを広げられるようにしたい。)</p>
根尾	田河						
根I This is my town. We have usuzumizakura. This is a famous cherry blossom in Gifu. I like usuzumizakura. It's beautiful.	田I This is my town. We have Ikigyu. Ikigyu is very delicious. 田2 We can eat Yakiniku and Hamburger. I like Yakiniku very much. Please eat it!						
<p>展開 ①</p>	<p>・活動と振り返りを通して、伝える内容を整理した上で自分の考えや気持ちを併せて自分が住む地域の魅力を伝えることができる。</p>	<p>4 感想交流【Do you have any comments?】 ・活動してみて、感じたことを交流する。</p> <p>5 Teacher's comments ・教科担任、ALT の話を聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">授業終了後の児童の思い・振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根尾の魅力を伝えることができた。初めは、好きな理由を伝えることができなかったけど、理由を含めて話すことができた。 ・紹介するだけじゃなくて、来てもらえるようにたくさん魅力を伝えることができた。 ・根尾の魅力を伝えたときに、「すごきれい!」と言われてうれしかった。 ・自分の気持ちと併せて話したら、田河小の子にも根尾の魅力を伝えることができた。 </div>	<p>・感想交流を行うことで、活動してよかったという実感に繋げる。</p> <p>【コメントの視点】 ・教科担任：ねらいに基づき、児童のよい姿(特徴と自分の気持ちを併せて話していて、魅力がよく伝わった場面など)を紹介し、価値付ける。 ・ALT：交流を楽しむことができた場面などを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">評価規準</p> <p>【思考・判断・表現】 ふるさと(根尾)のよさを知ってもらうために、紹介する場所や物の様子について、伝える内容を整理しながら自分の考えや気持ちと併せて話したりしている。</p> </div>				
<p>終末</p>	<p>・本時できたこと、できるようになったことを確かめ、今後の学習意欲をもつことができる。</p>						